

くるはら

2016(平成28)年 1月10日

第 50 号

発行 来原地区コミュニティ
づくり連絡協議会

編集 広 報 部

第33回たかみや大地の祭り



大地に響け、来原小のブラス



215mのなが〜い巻き寿司



大空に希望をのせて
未来につなごう



新年あいさつ

安心して暮らせる

「コミュニティづくりを目指して」

来原コ連協会長 平野 弘則



来原地域の皆様、明けましておめでとございます。

希望あらたにお健やかに新春を迎えられたこと、心よりお慶び申し上げますと共に、平成二十八年が皆様方により良い年になりますよう祈念致します。又前年は、来原コ連協が呼びかける心豊かに安心して暮らせる地域活動等に、多くの皆様方のご協力をいただき感謝致します。

さて、来原コ連協も昭和五十三年発足以来三十七年を経過し、当時より地域の状況は大きく変化してきました。私たちの暮らす緑豊かな稲作中心の農村地域も、戦後の食料不足時代から米過剰等、社会・経済は大きく変化し、今全国的に言われている人口問題も、一極集中に併せ少子高齢化が進み、中山間農村地域は、地域の小学校の統合問題を含め大変厳しい環境下にあります。

これまで自然と大地を守り、地域の基幹産業として位置づけられてきた農業も、高齢化に伴い

過疎と担い手不足という大きな課題に直面していると思います。

来原コ連協機関紙「くるはら」前四十九号で来原地域の人口の推移、地域の高齢化率について広報しましたように、安芸高田市全体で三五・五四%に対し、高宮町四五・六四%、来原地区四四・六四%(高齢者福祉センター+高美園を含む)と非常に高い数値が示されています。

これからも安全に安心して暮らせる地域社会環境づくりのため、地域での一つひとつの課題を地域の共通課題としたコミュニティづくりを推進したいと思っています。

今年も引き続き来原コ連協が呼びかける地域活動に参加協力いただき、高齢化地域であっても、地域の絆・もやいの精神で、来原に住んで良かったよの、と言われるよう努力したいと思っています。

皆様方のご提言、ご指導をお願い致し、新年のご挨拶といたします。

みなさまとともに

塚本 近

来原地域のみなさま、あけましておめでとございます。

みなさまご家族おそろいで、よいお正月を迎えられたことと思います。

安芸高田市も合併し十二年を迎え、昨年三月には第二次安芸高田市総合計画を策定し、「人つながる田園都市安芸高田」を将来像として、新たな町づくりへの挑戦を進めることとなりました。

今日、人口減少の歯止め対策と少子高齢化対策の推進が、私たちに課せられた大きなテーマだと考えております。そのために私はこれからもみなさま方と一緒に一生懸命努力を続ける決意であります。どうか今年も一層のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、みなさまにとりまして、幸多い年でありますようお願い申し上げます。私の新年のごあいさつといたします。



「人がつながるまちづくり」を大切に

秋田 雅朝

地域の皆様、新年おめでとございます。

お健やかに新春をお迎えになりましたこと、心よりお慶び申し上げます。

さて昨年、国では「一億総活躍社会」の実現に向け国民会議が動きだし、本市では「第二次総合計画」が策定され、多岐に渡る施策展開が図られています。

国も本市も「誰もが住みやすい社会」を目指し、「人」が中心であることが大切だと思います。国へは、言葉だけが先行せず、成果が実感できる支援を願い、市では、行政と地域が協働して、将来を見据えた見解と取り組みが必要だと思っています。

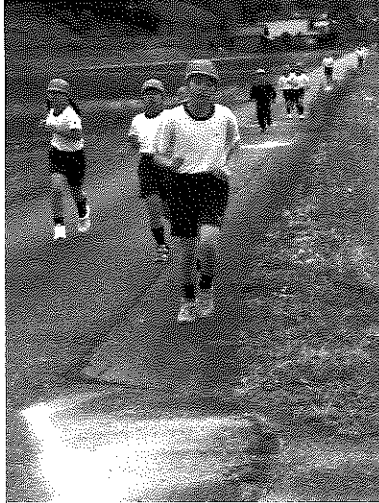
私は、今年で五回目の「年男」になります。干支の申にちなんだ諺に「見ざる・聞かざる・言わざる」がありますが、私としては「地域をしっかりと見て、皆様の声をよく聞いて、行政に強く提言していく」をモットーに、使命と職責を果たす所存でございます。

最後になりましたが、皆様のご健勝にてご活躍を心よりご祈念申し上げます。

走り続ける 来原っ子

今年もマラソンの季節がやって来ました。来原小学校では今年度、六月から毎朝、五分間マラソンをし、十月からは週二回、大休憩にも五分間走をして体力づくりをしています。

それは、四月の全校朝会で校長が「駅伝大会で『来原魂』を見せ付けてやろう!」と呼びかけ、子供たちがやる気になったことが発端でした。実は、昨年度の安芸高田市小学校駅伝競走大会で来小チームは惨敗し、参加者全員が悔しい思いをしたのです。十一月十九日の校内マラソン大会に向けて全校児童がコースを選択し、自分の目標を持って

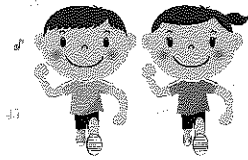


走りました。また、十一月二十一日の駅伝大会に出場する子供たちは、十月中旬から放課後練習を始めました。その過程で嬉しかったのは、自己タイムを一

秒でも縮めようと自主練習をしている子供がたくさんいたこと、大会に出場しない子供たちが、みんなの代表として走る選手を応援しようと横断幕づくりを始めたことです。

そして、迎えた十一月二十一日の駅伝大会当日、ほとんどの子供が自己ベストを更新し、Aチームが見事に四位入賞(全二十三チーム)を果たしました。

子供達が襷に込めた「思い」は確実に引き継がれ、見事な花を咲かせました。



育てる喜び、味わう喜び

いただきます

くるはら保育園では、年間を通して菜園活動をしています。

- 春・・・そら豆、スナップエンドウ、いちご
- 夏・・・玉ねぎ、ジャガイモ、夏野菜、枝豆、トウモロコシ、人参
- 秋・・・キャベツ、サツマイモ、はつか大根
- 冬・・・大根、白菜、人参

今年度「なかよし会」の方をはじめ、地域の皆様のおかげでこのような収穫体験ができました。

とりわけ、今年は地域の方の広い畑をお借りして、さつま芋の苗を植えさせていただき、四五〇本もの収穫ができました。子どもたちはとても喜びました。収穫したさつま芋はクッキングで、スイートポテト、はがまで炊いた芋ご飯、そしてなかよし会での焼き芋でたくさん味わうこと



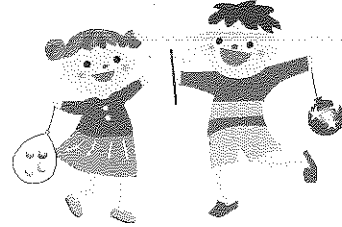
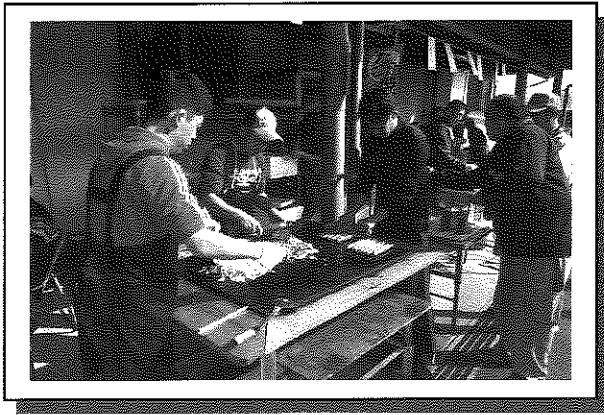
ができました。

菜園活動を通して子どもたちは野菜を自分たちで育てる喜び、また「味わう喜び」を感じています。このような取り組みから、食に対する意欲が高まってきました。いつも野菜の生長を気にかけて見に来ていただく地域の皆様に感謝いたします。くるはらの子どもたちが、これからも健やかに育つようご支援をよろしくお願いたします。

【来女木客まつり】

十一月二十三日、「第二十七回来女木客まつり」が開催され、秋日和の中多くの人で賑わいました。子ども会や女性部、老人会、ふれあいサロン等の皆さんによるステージ発表、神楽団や子ども神楽同好会による勇壮な舞等が披露されました。たこ焼きやから揚げ、焼きそば等、ひまわり会のバザーも好評で、お昼過ぎには完売となりました。

懐かしい方との再会や地域内でのふれあいの場として、和やかな一日を過ごされました。



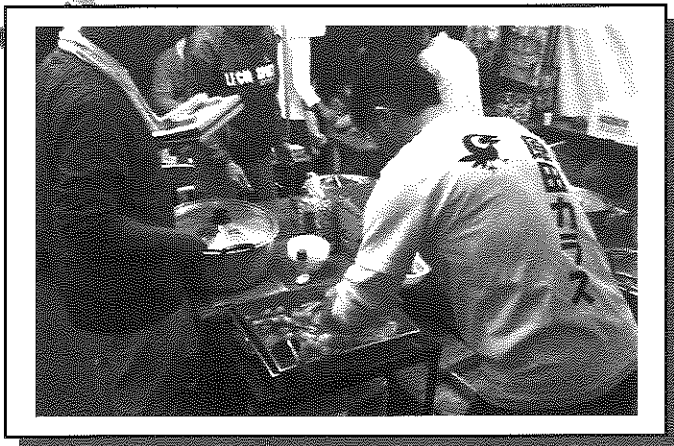
【原田神楽団太刀納め

・原田客まつり】

十一月二十二日、「原田神楽団太刀納め・原田客まつり」が来原小学校体育館で開催されました。

地域内外よりたくさんの方々にお出でいただき、秋の夜長を神楽で堪能していただきました。

屋外では、原田カラスのメンバーがバザーを開き、うどんやおでんなどの販売、子どもさん向けには、キャラクター商品が当たるとくじ引きなどで会場にいられた皆様に喜んでいただきました。



【平和の灯のつどい 被爆ピアノコンサート】

被爆七十年となった今年八月、来原小学校体育館に、被爆ピアノがやってきました。プロの演奏家によるピアノと歌で、このピアノが被爆し、長い眠りを経て再び音を奏でるまでの物語を聴きました。

来原小の中村夏未さん(小六)と百夏さん(小四)も、息のあった連弾。

古くて傷あとだらけでも、キラキラきれいな音色です。

最後は地域の皆さんと『花は咲く』を合唱し、恒久平和に思いを馳せた夕べでした。

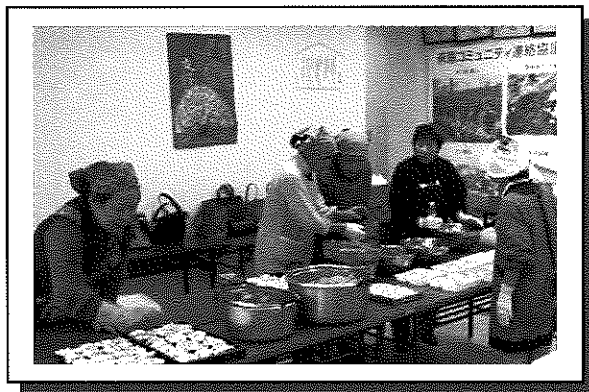


【高齢者福祉弁当づくり】

福祉部では十一月十三日にプラタナスの調理場において福祉部員を中心に女性部有志の応援協力により、高齢者への福祉弁当づくりを実施しました。

七十五歳以上の一人暮らし家庭、または、八十歳以上の二人暮らし家庭に、約八十食を、来原小学校の児童の皆さんの心のこもったお手紙を添えてお届けしました。

この費用は、来原さんばい祭りでの福祉バザーの売上金四万三千八百円を活用させていただいています。皆さんのご協力に感謝いたします。次回の弁当づくりは三月を予定しています。



プラタナス

プラタナスは、地域のいろいろな活動拠点として、皆さんにご利用いただいています。利用団体十七団体、利用者数年間約五千人、利用日数約三百十日。また、プラタナスの二階は、放課後児童クラブの活動に使われています。

これからも、地域みんなの拠点として、大切にしていきましょう。

今回から、主な利用団体のご紹介をします。それぞれの活動日は、プラタナスのホール入り口横のカレンダーに記入されていますので、関心のある方はグループ活動日に覗いてみてください。

初回は「K.D.S」高宮クラスの紹介です。

「K.D.S」高宮クラスの紹介

「K.D.S」は、広島を中心に100クラス以上を開設する広島最大級のダンススクールです。

ダンスを通し、夢・希望を持つことの素晴らしさ、表現することの喜び、夢へ向かって努力することの大切さをより多くの人々に伝えていきたいと活動しています。

高宮クラスは2011年3月に開講し、現在は小学生6人、中学生2人の合計8人のメンバーが在籍し、毎週水曜日17時から18時まで楽しく活動しています。

ダンスに興味がある方は、ぜひ一度体験しに来てください。一緒に楽しく体を動かしましょう!!



人が集まるところ、
時には、規格外の野菜が集まることも。
“モツタイナイも交流の種”

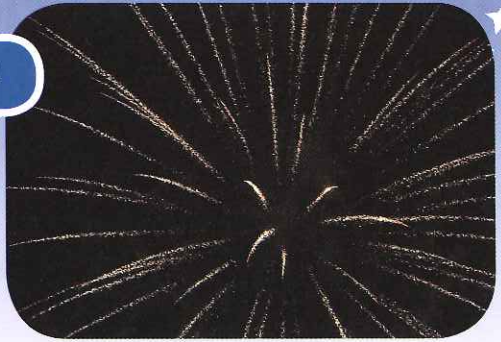
敬老会

十月十一日、来原コ連協主催の敬老会には百名近くの方にご参加をいただきました。当日は、来賓の方々温かいご祝辞をいただき、講演、アトラクション等でアットホームな会にしたいだけ事ができました。

また、今年は戦後七十年という節目であり、今日の日本の発展と平和があるのは、戦中戦後の厳しい世の中をご苦労いただいたお陰だと感謝する一日となりました。



高宮中学校 ナイター運動会



今年で第十二回となる高宮中学校「ナイター運動会」、学校・保護者・地域をあげての行事です。私達が中学生の頃は昼間に実施していた運動会、いつしか

土曜日の昼間は、仕事で参加できない保護者が多いことからナイター運動会になったと聞いています。

今回、全国放送 フジテレビの『めざましテレビ』『ここ調』のコーナーの取材があり、九月二十五日(金)に放送となりました。

リポーターとして来校した曾田アナウンサーにも地域対抗競技に参加して頂き、運動会が盛り上がりました。

老人会と生徒との「縄ない競争」で、生徒達は慣れない手つきで地域のおじいさん・おばあさんに教えてもらいながら四苦

八苦…。「玉入れ競争」は来賓・保護者・地域の方々も一緒に楽しみ、人と人との繋がりのある競技も残しています。

その他、学年別親子対抗リレーでは、「中学生になった子ども」「子どもに負けられない親」の熱いバトルが繰り広げられ、運動会が盛り上がりました。

生徒達の楽しみの一つ? キャンプファイヤーを囲み、全校生徒での「フォークダンス」は毎年アンコールが出るほどの人気です。

そして運動会のフィナーレは、安芸高田市の花火大会より迫力があるのではないかと思わせる『打ち上げ花火』で締めくくりとなります。

最後に、このナイター運動会の歴史と伝統を先々も受け継いでいって欲しいものです。

最後に、このナイター運動会の歴史と伝統を先々も受け継いでいって欲しいものです。



NZ 体験記

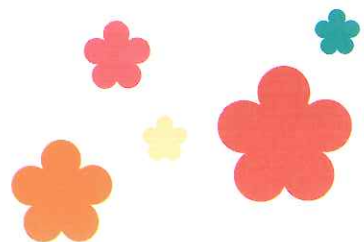
平成27年度の安芸高田市青少年海外派遣事業では、安芸高田市内の中学生27名(女子16名、男子11名)が、叶丸団長・仁井副団長と共に、8月15日から24日の10日間の日程で、ニュージーランドを訪問しました。今回は、韓国におけるマーズ発生のため航空便の変更があり、片道約32時間もかかる長旅で始まったそうです。来原地域からも2名の中学生が参加しました。



黒田 佳奈さん 高宮中学校2年生
「さよならパーティーでお世話になった
ホストファミリーと一緒にです」



矢野 美岬さん 高宮中学校2年生
「学校生活を一緒に過ごしたペアの子と撮った写真です」



■来原地区の将来の人口の推計について

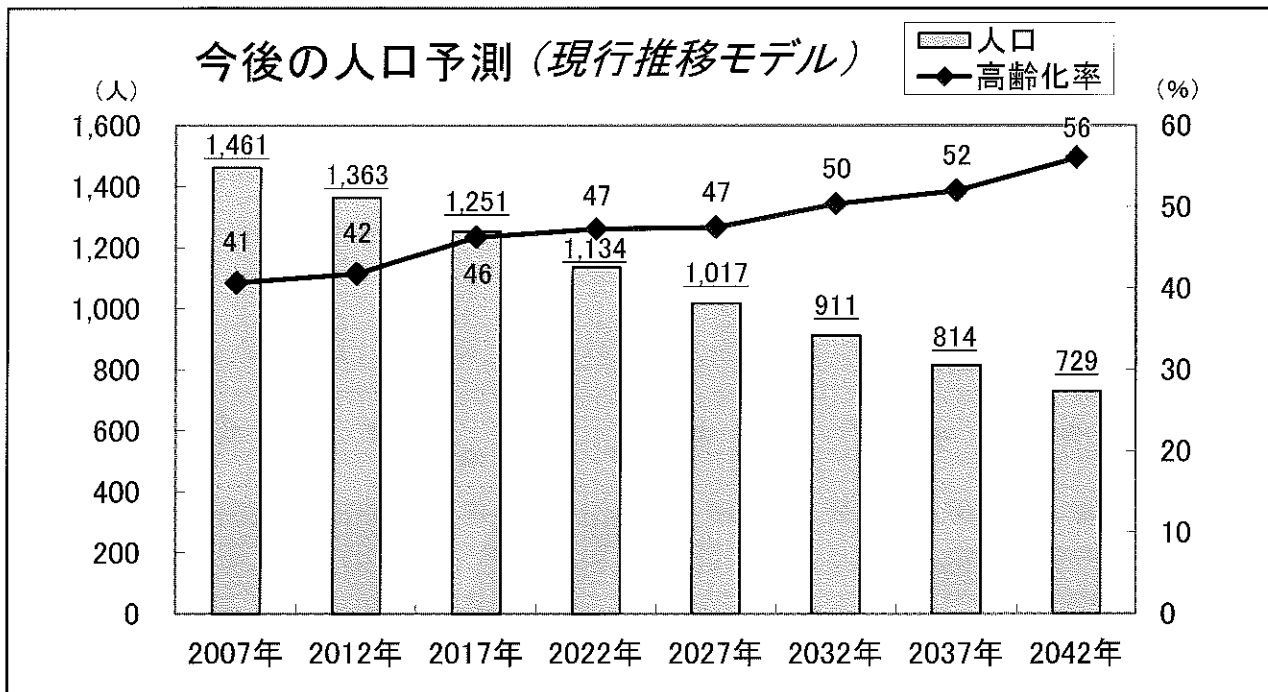
現在のような暮らしを続けるためには、毎年どれだけのIUターンがあれば、現状の人口を維持できるのかを試算したデータを紹介します。

このデータは、島根県中山間地域研究センターの試算を参考としたものです。



●現状のままの場合の将来人口の推計

年	人口(人)	高齢化率(%)	小中学生数(人)
2042年(平成54年)	729	56	27

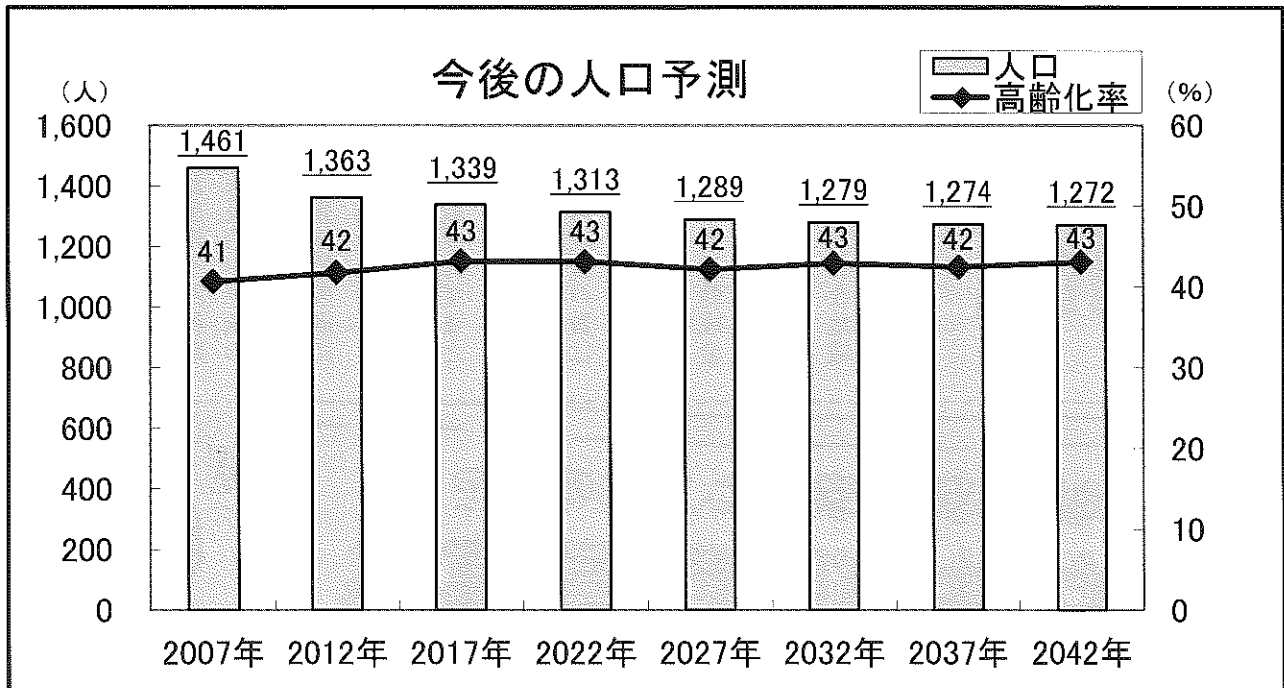


●次の条件でIUターンがあった場合の人口の推計

- ①毎年2組の20代前半の夫婦がIUターン
- ②毎年2組の30代前半の夫婦が4歳以下の子どもを連れてIUターン
- ③毎年3組の60代前半の夫婦がIUターン

年	人口(人)	高齢化率(%)	小中学生数(人)
2042年(平成54年)	1,272	43	81

■今後の人口予測



来原地域の将来について考える一つの目安としてご覧いただければと思います

今、都市部から田舎へ移り住む「田園回帰」が注目されつつあります。

昨年、安芸高田市で開催されたまちづくり講演会で、藻谷浩介さんは「安芸高田市は恵まれている」と言われました。また、島根県中山間地域研究センターの藤山浩さんも、安芸高田市の優位性に触れながら、地域が存続するには毎年人口の1%を招き入れ、稼いだ金が外に流れないように地元のモノを買うことを「田園回帰1%戦略」として提唱され、そこに住む人が都会とは違う豊かな暮らしが地域の中にあることを見出し、その良さを身近な人や外部の人に伝え続けることが新たに人を招き入れることに繋がるとのお話でした。

高根県では、都市部から地方への移住を希望する人が増え、調査をした四割の地域で三十代の女性が増加し、三割の地域で四歳以下の子どもが増加しており、その地域の多くは田舎の田舎だそうです。

住んでいる私たちが来原地域の良さに気付いていないのかもしれない。今少し踏ん張って子や孫が帰ってこられる来原にしたいものです。

■空き家情報バンクに登録しませんか！

空き家の利用を希望する転入者に情報を提供する「空き家情報バンク」

市が平成26年に調査した市内の空き家の状況は、下記の表のようにかなりの数はあるものの、売却・賃貸を考え、空き家情報バンクに登録される方は少ないようです。平成27年末の来原地区の状況は、4件登録があり、うち3件は既に契約済とのことでした。

	空き家	補修は不要または、 若干の補修で住める家の数	売却・賃貸希望数
安芸高田市	1,902	1,332	246
高宮町	407	281	37
来原地区	103	75	5

※2014年(平成26年) 9月末調査

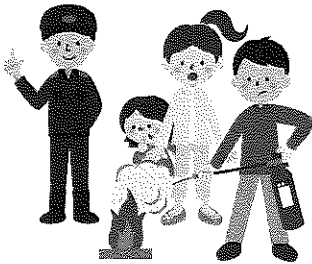
【お問い合わせ先】 〒731-0592 広島県安芸高田市吉田町吉田791
安芸高田市 建設部 住宅政策課 TEL (0826)47-1202

地域自主防災防犯の取り組みを推進

来原コ連協は、会員の皆様のご協力のもと、地域防災防犯への取り組みを進めております。これまで、防犯灯設置の推進、消火器を使った初期消火訓練など防災防犯意識の高揚とあわせ、義務化された各家庭への火災報知器設置にむけた取り組み推進を行ってまいりました。その取り組み結果を、この度各行政区にてまとめていただきました。

平成二十七年十二月一日現在、火災報知器設置戸数は三百十戸、設置割合は約六十七%でした。今回各行政区の設置戸数に対して推進助成金として一戸当たり五百円の助成を致しました。

今後、安全・安心な地域づくりの皆様の協力をよろしくお願い致します。



地域の安全・安心に、女性の力を!!!

女性消防団員募集



安芸高田市消防団では、女性消防団員を募集しています。自分が育った町、自分が暮らす町、そして自分が働く町、かけがえのない大切な安芸高田市を、みんなと一緒に守りませんか。応急救護や防災に関する知識技術を身に付けることで、いざという時に、あなたの家族や大切な方々、地域の皆さんを守ることができます。



■入団の申込・お問い合わせ先
安芸高田市役所総務部危機管理課
電話：0826-42-5625

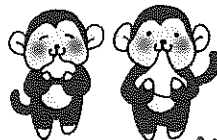
あなたのチカラで
安芸高田市の地域防災を!

☆コ連協等行事予定

- 1月10日 安芸高田市消防出初式
- 1月31日 第16回新春高宮子ども神楽発表大会
- 2月21日 安芸高田市民フォーラム
- 3月10日 高宮中卒業式
- 3月20日 くるはらミニ駅伝競走大会
- 3月23日 来原小卒業式
- 3月25日 くるはら保育園卒園式
- 4月5日 くるはら保育園入園式
- 4月6日 来原小入学式
- 4月7日 高宮中入学式

編集後記

明けましておめでとうございます。本年が皆様にとりまして幸せ多い年となりますようお祈りいたします。さて、広報「くるはら」五十号ができました。五名の広報部員が分担した原稿を、部長が編集をして作成したものです。私は、四月からの加入ですべてにわたり未熟者ですが、部員の連携・指導のもとで何とか乗り切ることができてほっとしているところです。原稿をお寄せ下さいました方、諸々にご協力下さいました方々に心からお礼を申し上げます。



地域の宝 みんなの元気の素「たかみや湯の森」開館17年

西日本唯一
露天酒風呂

県北唯一
歩行浴専用温泉プール
露天炭酸風呂

広島県唯一
介護リフト付き
ファミリー風呂

来原コ連協が運営協会の一員として地域を挙げて取り組んでいる「たかみや湯の森」も、平成十一年一月開設以来十七年を経過し、利用者数は平成十三年度の十七万九千人をピークに平成二十六年度は九万六千人と年々減少してきています。その要因には類似施設の新設、農村部の人口減と高齢化、社会経済状況の変化等々ありますが、今期(平成二十七年)度は利用者数が若干増加傾向にあります。

施設としては、ご承知の通り、バリアフリーで高齢者・身障者の方にやさしい施設です。この「たかみや湯の森」の開設については、地元皆さんの昔の大仙の湯の復活要望にこたえての大きな財産です。

ご利用いただく皆さんも安芸高田市内の多くの皆さんをはじめ、県内一円からご来館いただいています。



近くの地元の皆さんには、今より一層のご利用でより元気になっていただきたいと思えます。

多くの皆さんのご来館・ご入湯をお待ちしています。

さらに、「たかみや湯の森」は、皆様に気持ちよくご利用いただくために、毎晩約二時間かけて地域の方々に清掃していただき、きれいで衛生的な環境を維持しております。

地域の宝を磨き上げるお手伝いをご一緒にしていただける方は、ご連絡ください。

「平日、湯の森がアツい!」

月曜日 シニアデー 65歳以上の方 大浴場100円割引
(年齢を証明できるものが必要です)

火曜日 プールの日炭酸デー 歩行浴プール 利用料100円割引

水曜日 レディースデー 女性(大人)の方 大浴場100円割引

お得な特典!

木曜日メンズデー 男性(大人)の方 大浴場100円割引

ファミリー風呂の日 ファミリー風呂 利用料 特別料金

金曜日キッズデー 4歳~小学生の方 大浴場 半額

大浴場 スタンプカード
40回達成特典感謝として、
無料券1枚 合計2枚進呈!

※平日のみ(初日・お盆・正月休み等は対象外とさせていただきます。)
(お盆:8月13日~8月16日)
(正月:1月1日~1月3日)

毎月20日はスタンプ2倍デー!!

※対象は、当日利用券のみとなります。

65歳以上の方 必見!

お得なプランのご提案!

平日宿泊プラン! 2日目の大浴場入浴券付
1泊2食 7,500円(税込)

別館・福寿荘宿泊湯治プラン ●2泊以上のプランもあります!!

【湯の森大浴場使用料金】	大人(中学生以上) 700円	子ども(中学生未満) 400円	幼児(3歳以下) 無料
【歩行浴専用温泉プール使用料金】	大人(中学生以上) 500円	【介護リフト付ファミリー浴場使用料金】	大人(中学生以上) 2人以上 2,500円

営業時間 〒739-1805 広島県安芸高田市高宮町原田1787-1
午前10:00~午後9:00 TEL.0826-59-0059 FAX.0826-57-2200

定休日 毎月第2火曜日

フェイスブック 始めました!

<http://www.yunomori.net> たかみや湯の森



も〜っと使える!!お太助フォン!!

「お知らせグループ配信サービス」テストプロジェクトにて活動中

平成二十五年秋から市内全域で使えるようになったお太助フォン、お悔やみや市・JAの情報も文字や音声で確認でき、さらに相手の顔を見ても話もできる優れたものです。

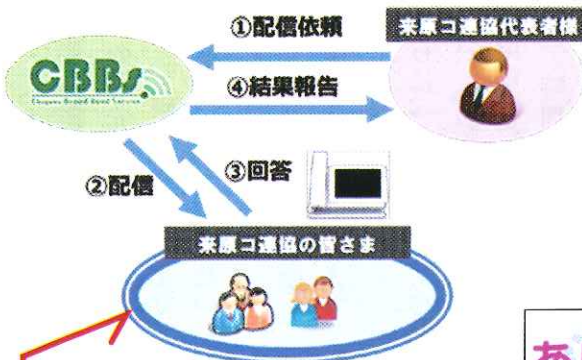
このお太助フォンを、使わないともったいない!も〜っと使えるはず!と、平成二十七年七月より、来原コ連協は、お太助フォンの運営会社中国ブロードバンドサービス株式会社(CBBS)が新年度より予定している「お知らせグループ配信サービス」のテストプロジェクトに参加しています。役員間でのイベント連絡や出欠確認などに、お太助フォンを活用するためのサービスで、執行部役員と各行政区の推進委員の方々に登録いただき、品質向上に向けて協力しています。

現在、登録頂いた方のお太助フォンのトップ画面には「来原コ連」アイコンが設置され、格段に使いやすくなっています。行事の連絡や対象となる方々の出欠確認もボタン操作一つででき、さらに前日準備や当日の出欠を組み合わせた四つの回答ボタンによって役員の皆様の参加状況を把握でき、とても助かっています。

新たなサービスを使いやすく、も〜っと使えるお太助フォンに向けて皆様のご協力よろしくお願いします。

テストプロジェクト参加者の

お太助フォントップ画面



「お知らせグループ配信サービス」の流れ

【CBBS担当者談】

日頃より当社サービスをご利用いただき、ありがとうございます。

今後も、来原コ連協様をはじめ安芸高田市民の皆さまのお役に立てるよう努めてまいりますので、引き続き宜しくお願い致します。また、お太助フォンやインターネットでお困りのことがありましたら、いつでもご連絡ください。



CBBSによる説明会(プラタナスにて)



インターネットサービスプロバイダ **あじさいネット** 年末年始特別企画 12/1 Tue ▶ 1/31 Sun
お友だち紹介キャンペーン

★お得なプレゼント!!★ 50名様限定!!

新規加入者をご紹介頂いた方へ

5,000円分の **全国共通商品券**をプレゼント!

ご紹介によりご加入される方へ

インターネット料金 **最大2ヵ月 0円**

※加入者同士でお互い紹介も可能→「商品券+最大2ヵ月無料」GET!!
 ※対象コースは「つかい放題プラン」と「MAXプラン」です。
 ※あじさいネットの最低利用期間24ヵ月です。
 ※ご紹介にあたり「申込書」と「紹介状」が必要です。
 ※上記特典は定数になり次第終了とさせていただきます。

中国ブロードバンドサービス株式会社
お気軽にお問合せ下さい【受付時間: 平日9:30~18:00】
TEL: 0826-45-7017
 お太助フォン: 99-5500 / I P電話: 050-5535-5500